

事例

3

保育の共通体験をしよう

- ・パパママ先生、大募集！
- ・ボランティア活動を通して子供の育ちの共通理解を推進！



パパママ先生（ボランティア先生）を募集し、遊びへの参加体験から子供の学びや育ちに対する共通理解を図る

募集しま～す



○パパママ先生の活動

園外保育引率、水遊び、絵本の読み聞かせ、大掃除、誕生会の出し物等

○園の取組

保育の取組や保育目標、子供の育ちを知ってもらうために、お便りや写真を利用している。事前の打ち合わせで、遊びや活動をどのように進めるか、子供への関わり方、保育者の願いを知ってもらうことで、共に育てる環境の構成をしていく。

パパママ先生にはこのように子供と関わってほしい

- ★意欲につなげる
- ★認める・褒める
- ★励ます・自信につなげる
- ★見守る

パパママ先生(ボランティア先生)と一緒に！

○水遊び 3歳児 6・7月 パパママ先生 2名

■ その1 「うまくできないよ」

〈保育者の願い〉

入園して2か月。水着を着ること1つをとっても、服を脱ぐこと、たたむこと、それらの準備に時間を要する。大人がやっしまえば早いところだが、何回か経験していく中で、少しずつ自分でやってみる気持ちが育ってほしい。

〈パパママ先生の姿〉

- ・服がなかなか脱げずに困っているA児の姿を見て、そっと寄り添い手伝ってくれた。
- ・水着を着やすいように整えてくれた。
- ・「上手にたためたね」と認めたり、「もう少しがんばれ！」と励ましたり、「やった！できたじゃん！」と一緒に喜んだりしてくれた。
- ・活動の切り替えがうまくできなくて…「まだ遊びたいんだ！」「水遊びやりたくない」という子供には、ゆっくりじっくり気持ちを聞いて接してくれた。

ポイント

保育者の願いをパパママ先生に伝え、共通理解を図って進める。



■ その2「お花からも色がでるんだね～」

〈保育者の願い〉

水が好きな子、苦手な子も自ら遊びに関わっていくことができるように、小プール・金魚すくい・水鉄砲・色水（食紅）遊び・せんたくごっこ等の、コーナーを用意した。子供たちが「おもしろそう！」「不思議だな」「もっとやってみたい！」など、思わず体が動く、心が動かされる、そんな遊びだしたくなるような環境を大切にしていきたいな。また、楽しいと感じたことに繰り返し取り組んでほしいな。保育者と一緒に安心して、いろいろな遊びに関わっていけるといいな。



【色水遊び】

教材を変えてみよう！
（環境の再構成）



【環境の構成を工夫する保育者】

パパママ先生感想

- 少しずつ遊びグッズを変えたり、増やしたり、プールの外で遊ぶ子のパラソルの位置に気を配ったり、日頃から先生たちは子供が安全に楽しく過ごせるよう、配慮していることが分かりました。
- お手伝いしてほしい子、自分でやりたい子、遊ぼうと誘ってくれる子、少し照れ屋の子、いろいろな子供がいました。
- 水が飛ばない水鉄砲があったので、どうするとよいか検討できるとよいなと思いました。

ポイント

保育者の動きの意図について、パパママ先生の理解を進める。

ふりがえり

集団生活の中での子供の姿や育ちの共通理解を進める

パパママ先生の感想から、保育者の意図を理解してもらえたことや、保育者が気付かなかった環境についての改善点等を知ることができた（連携・協働）。パパママ先生の活動は園長通信に掲載し、全保護者に配付している。実際の様子を知ってもらうことで、パパママ先生に興味をもつ保護者もいる。

園の取組や子供の育ちを実際の保育から感じてもらい、遊びや活動を通して、子供たちがどのようなことを感じていたのか、どのような変化があったのか、保育者はどのように関わっているのかの理解を進めていく。特に、家庭では見ることができない集団生活の中での子供同士の関係づくりや、どのようなやりとりが育ちにつながるのかを園と家庭とで共通理解していくことは、子供の姿から発達を理解し、次の育ちの見通しをもつことにつながる。